



明峰中 小瀬高 中高一貫だより



明峰中学校と小瀬高校は、連携型中高一貫校として新たな中高連携を模索し、推進することを通して、「地域の中で歩み、地域に貢献できる生徒」の育成に励んでいます。

連携型中高一貫教育 生徒交流事業

6月24日（金）、明峰中の3年生を対象に福祉体験学習を行いました。今回は、小瀬高の福祉コースの2、3年生が講師役を務め、日頃学習した内容を中学生の皆さんに伝達しました。

まずは、高校生が見本となり、シルバーリハビリ体操を行いました。体操の目的や注意するポイント等について、中学生にもわかりやすく説明することができました。

次に、高齢者体験と車椅子体験に分かれて活動しました。どちらの体験でも、高校生が中学生をリードし、和やかな雰囲気で行うことができました。参加した中学生からは、「とても貴重な体験ができた」「高校生の説明がわかりやすかった」等の感想が寄せられました。



その他にも、部活動交流やふれあい花壇整備等、連携校の生徒が相互に関わる活動に取り組んでいます。今後も、明峰中と協力して様々な体験を重ねることで、「地域の中で歩み、地域に貢献できる生徒」を育むために尽力いたします。



中高一貫教育振興連絡協議会 連携型中高一貫教育推進委員会

5月20日（金）、中高一貫教育振興連絡協議会並びに連携型中高一貫教育推進委員会が開催されました。新型コロナウイルスによる緊急事態宣言等の影響で、3年ぶりの開催となりました。

ご参加いただいた皆様からは、「中高一貫教育の取組を通して、地域の交流を活性化し、常陸大宮市全体を盛り上げてほしい」「中・高のビジョンを共有しつつ、それぞれの学校のオリジナルの部分大切にほしい」等のご助言をいただきました。



No Challenge No Future